



FMC

ガゼット[®]粒剤

カルボスルファン……3.0%

®は米国FMC社の登録商標です。



ピーマン、きく等のアザミウマ・
アブラムシを抑える。

箱処理でイネミズゾウムシを抑える、
経済的な定番殺虫剤。





- 成分:カルボスルフアン…3.0%
- 毒性:医薬用外劇物

適用害虫と使用方法

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	使用量		使用時期	総使用回数*		使用方法
					本剤	カルボスルフアン剤	
水 稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ イネゾウムシ イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30x60 x3cm 使用土壌 約5ℓ)	1箱当り 40~70g	移植前3日~ 移植当日	1回	1回	育苗箱の苗の上から 均一に散布する
	ヒメトビウンカ ツマグロヨコバイ		1箱当り 50~70g				
	イネシンガレセンチュウ		1箱当り 70g				
ピーマン	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時	1回	1回	定植時:株元散布又は植穴土壌混和 育苗期後半:株元散布	
		1g/株	育苗期後半				
さとうきび	ハリガネムシ メイチョウ類 コガネムシ類幼虫	6~9kg/10a	植付時	2回 [植付時の土壌混和は1回、 培土時の土壌混和及び 散布は合計1回]	2回	植溝土壌混和	
	培土時		株元土壌混和				
たばこ	アブラムシ類	6kg/10a	定植時	1回	1回	作条土壌混和	
きく	ネグサレセンチュウ	30kg/10a	定植時	3回	3回	全面土壌混和	
	アブラムシ類	2g/株	生育期			株元散布又は植穴土壌混和	
	ミカンキイロアザミウマ	9kg/10a	生育期			株元散布	
つつじ類	コガネムシ類	10g/株	定植時及び 生育期	2回	2回	定植時:全面土壌混和及び株元土壌混和 生育期:株元土壌混和	
	ツツジグンバイ	10g/株	生育期	1回	1回	株元散布	
ストック	コナガ	9kg/10a	定植時	1回	1回	全面土壌混和	
		18kg/10a					
シクラメン ペゴニア	キンケクチフトゾウムシ幼虫	1~2g/株	生育期	1回	1回	株元散布	
プリムラ	キンケクチフトゾウムシ成虫	0.5~2g/株					
イチイ	キンケクチフトゾウムシ幼虫	2g/株					
芝	コガネムシ類 シバオサゾウムシ成虫 ケラ	5~10kg/10a	発生初期	3回	3回	散布	

作物名	使用目的	使用量	使用時期	総使用回数*		使用方法
				本剤	カルボスルフアン剤	
芝	ミミズの糞塚形成防止	5~10kg/10a	糞塚形成時	3回	3回	散布
	オオハサミムシの 脱出孔形成防止		脱出孔形成時			

使用上の注意事項

- 水稲(箱育苗)に使用する場合は、一般的注意事項の他に次の事項にも注意してください。
 - 移植当日に使用する場合は、育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。移植1~3日前に使用する場合は、散布後通常の管理を移植日まで行ってください。
 - 育苗箱の土壌表面が乾燥して、苗を田植機にのせる際、薬剤落下のおそれがある場合は、散布後灌水してください。
 - 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗の場合には、薬害を生ずるおそれがあるので使用しないでください。
 - 稲苗の葉が濡れていると薬害を生じやすいので、散布直前の灌水はしないでください。
 - 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟堆肥多用田の場合は使用をさけてください。
 - 処理苗を移植した水田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意してください。移植後は直ちに灌水し、極端な浅水、深水はさけてください。又深植にならないように注意してください。
 - 移植後低温が続く苗の活着遅延が予測される場合は使用をさけてください。又、移植後極端な高温が続くと予測される場合も使用をさけてください。
 - 本剤処理により時に葉先枯れなどの薬害を生ずることもあるので、所定の使用量、使用方法を厳守してください。
- 畑作に使用する場合は、一般的注意事項の他に次の事項にも注意してください。
 - 定植時に植穴処理する場合には、植付苗の根に薬剤が直接ふれると薬害を生ずるおそれがあるので、軽く土壌と混和してください。
 - 土壌が極度に乾燥している時は、処理後灌水してください。
 - ピーマンに使用する場合、過剰に施用すると、下葉の黄変、葉縁の黄化等の薬害を生ずるので、使用量を誤らないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けことが望ましいです。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。
●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

※本資料は2015年2月現在の登録内容に基づいています。

